

視聴覚教育

NO. 405

発行日

26. 9. 30

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ フリックとスワイプ

スマートフォンやタブレットPCなど、タッチパネルを備えた機器の操作方法の名称、「フリック」は、画面を指で押さえてから、さっと弾くように動かすこと。それに対して「スワイプ」は、指で画面に触れたまま、一定方向へ掃くように動かすという違いがある。

平成26年度全国自作視聴覚教材コンクール（主催（財）日本視聴覚教育協会）

本市から出品した自作視聴覚教材のうち二作品が文部科学大臣賞と優秀賞に輝きました。

【中学校部門】

●文部科学大臣賞（最優秀賞）

「空気を探る ―空気自動車から―」

おかざき映像教材研究会E班

服部将也、山口秀樹、杉浦修
池田美輝、川上翔太

岡崎市視聴覚ライブラリー

人間の目には見えない空気。この作品は未来の自動車として研究が進められている空気自動車や、実際に消防署で使われているエアージャッキを具体例として取り上げ、空気の力が現代社会の中で様々な場面で活用されていることを紹介している。また、ストローを使って人間の呼気で空気ベッドを膨らませるという独自の実験も映像化し、科学的な原理や法則を親しみやすく解説する。



子供たちが実感をもって捉えにくい「空気」を、このような事例や実験を通して学ぶことで、その性質に魅力を感じ、科学的に考える楽しさを味わうことができる作品である。

【社会教育部門】

●優秀賞

「三河木綿 ―伝統を紡ぐ人々―」

おかざき映像教材研究会A班

鈴木一史、杉山康子、本間茂夫
笠間大樹、尾山和昭、榊原由里香
高瀬玲子、長谷川威全、川本祐二

岡崎市視聴覚ライブラリー

江戸の町で流行し、かつては三河地方で盛んに作られていた三河木綿。しかし現代では、三河の木綿業はほとんど廃れてしまった。そんな中で、素朴な三河木綿の魅力に引き込まれ、布作りの技を守り、次世代に伝えていこうと活動を続けているのが「手織三河木綿保存会」の人たちである。



作品中、保存会の人たちが、綿花の栽培から、染色、機織りなどを全て手作業で行う様子や、昔の文献に記載されている木綿の模様を苦労して復元している姿が、伝統産業を守ろうとする情熱と共に丁寧に描かれている。伝統文化に誇りを持ち、保護・継承をしていくことの大切さを感じる作品である。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれ

●作品募集のお知らせ

第13回全国こども科学映像祭

小学生部門…児童が保護者や教師と一緒に制作した科学映像作品

中学生部門…生徒が個人またはグループで制作した科学映像作品

(教師の指導可)

締切 平成26年10月31日（必着）

応募の詳細・応募票

<http://www.javea.or.jp/kodomoeizo/>

●授業研究協議会のお知らせ

会場 葵中学校

日時 10月22日（水）13時20分より

研究主題

「学び合い・磨き合いを軸にした、思考力・判断力・表現力の育成」ICTの幅広い

活用法と生徒が自ら求めてICTを活用する場の追究」

※参加申し込みは葵中ホームページからできます。（締切10月3日）

●学習情報部の自主研修会（TAV）

TAVは「翌日の授業から役立つ」「子供達の将来に必要な知識や技を身に付けられる研修会です。情報機器の得意な方もそうでない方も、満足・納得していただける内容を毎回企画しています。ぜひ一度足を運んでみてください。

【今後の予定】

◇10月31日（金）18時30分

「情報モラルの育成に向けて」

道徳部&生徒指導部との共同開催です。

◇2月20日（金）18時30分

「作ろう！プレゼント用DVD」

※9月26日（金）に予定されていた回は、事情により開催日を変更いたします。正式に決まり次第お知らせいたします。

実践報告Ⅱ

実感を伴う情報モラル指導

本宿小学校 渡邊 政則

中学年になった本学級の子供たちは、学校に慣れ、生活のルールを覚えて守ることの大切さを理解できるようになってきた。一方、家庭では、パソコンや携帯ゲーム機などを通して、インターネットの利用が増えてきたという実態がある。

そこで、今回は、パソコン室利用の指導と情報モラルの指導を併せて行うことにした。実際には、道徳二時間＋特別活動一時間の計三時間完了の計画で実践を行った。



第一・二時の道徳の授業では、「規則の尊重・公德心」をねらいとし、「ルールを守ることの大切さ」を振り返らせ

た。まずは、教室や図書室など、子供たちにとって身近な場所での過ごし方のルールについて確認しながら、それらについて自分の考えを発表し合った。

その後、「事例で学ぶNetモラル」を利用し、パソコン室でのルールやマナーを確認した。授業後の子供の感想には「先生に注意されなくても、一人一人がきちんとルールを守れば、気持ちよくパソコン室を使える」とあった。段階を追って指導を展開したことで、子供たちがルールやマナーの大切さに気づき、自発的に守ろうとする意識を持つに至った。

まとめとなる第三時の特別活動では、これまでの学習を基に、「事例で学ぶNetモラル」を利用して、SNSの利用の仕方と、その利便さ・怖さを体験できる学習を行った。「パソコンは楽しいけど、ちよつとまぢがえるとすごく怖い」とは、授業後に子供がふと口にした言葉である。実感のこもった、しかも核心を突いた言葉を聞くことができた。

今後とも体験的な学習を取り入れ、子供たちにとって実感の伴う情報モラルの実践を続けていきたい。

Ⅱレッツ・トライⅡ

新しい授業作りにつながるタブレットPC

三年生の修学旅行に向けて、東京都内での別活動を計画する際にタブレットPCを教室で活用した。このような活動では、これまでパソコン室を利用していた。しかし、一台のデスクトップPCに班員全員が顔を寄せ合って話し合う点で、物理的に困難な部分があった。その結果、意図的に協働的な学習を仕組んだにもかかわらず、個人での調べが中心となっていた。

そこで、班員が顔を寄せ合って話し合えるようにするため、タブレットPCを利用した。タブレットPCを使えば、班員全員が適度な余裕をもって集まりながら、同じ画面を共有することができ、教室の机を動かすことで、顔を合わせて話し合いやすい形態を作ることができる。生徒たちは相談を始めた。

「パンダを見に行きたいから、上野公園へ行くための電車の発車時刻を調べてよ」「その日のその辺りの時刻には、何か特別なイベントが開催されていないのかな」ガイドブックには掲載されていない情報についてウェブページを使って調べ、計画を立てることができた。

各班一台の利用としたことで、生徒たちの間で自然発生的に役割分担がなされたことも、タブレットPCの新たな可能性であろう。

タブレットPC活用の模

索が、新しい授業作りにつながると感じた。

(東海中学校 学習情報主任 近藤雄一)



ライブブラリーだよ

●DVDライターで簡単DVD作成

手元にあるビデオテープの映像やビデオカメラの映像を、簡単にDVDにダビングすることが出来る「DVDライター」を、ライブブラリーから貸し出すことができます。映像を、USB端子、DV入力端子、S映像入力端子、コンポジット映像入力端子、SDカード、メモリースティックから入力し、パソコンを経由することなく、ボタン一つでDVDへダビングします。記録映像を取り出してDVDにダビングする場合や映像整理に、是非ご利用ください。貸出を希望する場合は、ライブブラリーへ電話でお問い合わせください。

●視聴覚ライブブラリー

「子どもビデオ教室」の紹介

小学生を対象にしたビデオ教室です。子どもたち自身が、講師の助けを借りながら企画・撮影・編集を行います。毎年、子供ならではの感性で、素敵な作品が制作されています。完成した作品は、学校行事やお昼の放送で活用したり、各種の映像コンクールに応募したりすることができます。

今年度は矢作北小学校(9月27日)、岩津小学校(10月11日)、六ツ美西部小学校(11月1日)の3校で開催予定です。

問い合わせ先

岡崎市視聴覚ライブブラリー

電話 二三-六七八九

